学校番号	120

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	子どもの発達と保育（実教出版）						
副教材等	子どもの発達と保育　学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・子どもの発達の特性や発達過程，保育などの様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもち、広げていきましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい地域生活をめざします。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、実習記録表、レポート、発表、自己評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、実習記録表レポート、発表、定期考査の結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作品、観察記録表、レポート、発表、定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作計画、実習記録表、観察記録表、レポート、発表、定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7 月	子どもの発達の特性	○「子どもの発達と保育」を学ぶにあたって ＊「うちの子をよろしく」紹介文 ○発達と乳幼児期の意義 ○発達と保育環境 ○児童観と発達観	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:子どもの発達の特性について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達の特性や支援について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、子どもの発達の特性について検討する技術を身に付けている。 d:子どもの発達の特性や発達過程,保育などに関する知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		1学期末考査		○	○	○		定期考査
8 9 10 11 12 月	子どもの発達の過程	○子どもの発育 ・胎児の発育・発達 ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理的特徴 ・発育の評価	○	○	○	○	a:子どもの発育・発達、特徴などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発育・発達、特徴などついての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発育・発達、特徴などについて評価する技術を身に付けている。 d:子どもの発育・発達、特徴などついて理解し、知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		2学期末考査		○	○	○		定期考査
1 2 3 月	子どもの発達の過程	○子どもの精神発達 ・運動機能と感覚機能の発達 ・知的発達 ・言葉の発達 ・情緒の発達 ○人間関係の発達 ・愛着関係の形成 ・人間関係の広がり ・子どもの人格形成	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:子どもの発達や子育て支援について関心をもち，実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。 b:子どもの発育・発達、特徴などついての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発育・発達、特徴などについて対応する技術を身に付けている。 d:子どもの発育・発達、特徴などついて理解し、知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		学年末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。